

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1886】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 ものづくりサポート事業				
予算区分	款	07	商工費	所属	商工観光課
	項	01	商工費		
	目	02	商工業振興費	連絡先	0594-24-1256
	細目	001	ブランド推進事業費		

事業の概要 (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市内の製造業を営む中小事業者	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○新商品開発を行う者に対し、当該経費の一部を補助する。 ・ものづくりサポート補助金 対象：製造業を営む者 内容：市内製造業者が実施する新商品開発等に要する経費を補助する。	県や産業支援センターで採択されたものに対し補助金を交付している事業であるため、公民連携は困難である。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
新商品開発を通じた企業活動の活性化を図る。	

事業活動と成果 (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	補助対象数	団体	1	3	1	2	
	製造業を営む者 (従業員4人以上の事業所)	社	343	331	312	312	
活動指標	補助事業件数	件	1	3	1	2	
		件					
成果指標	製品数	個	目標値 1 実績値 1	1 1	1 1	2 1	
	補助交付件数	件	目標値 1 実績値 1	1 3	1 1	2 1	
投入コスト	事業費計		1,500	578	50	1,100	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源	1,500	578	50	1,100	
		所要人員 (正職員)	人工	0.27	0.05	0.06	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	1,883	354	410		

進捗評価 (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

年度により県や産業支援センターで採択される件数が異なる為、成果が見えにくい。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【655】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 鋳物生産技術向上事業				
予算区分	款	07	商工費	所属	商工観光課
	項	01	商工費		
	目	02	商工業振興費	連絡先	0594-24-1256
	細目	005	地場産業振興費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
鋳物生産技術競技会 県内鋳物企業	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○鋳物生産技術競技会が実施する事業に対して、補助金を交付する。 1) 鋳物生産技術競技会：参加社数：10社（オープン参加社数：2社）審査会：2月29日、表彰式：3月15日、展示会：3月15日～3月31日（桑名市役所、桑名市役所長島町総合庁舎、三重県工業研究所金属研究室） 2) 埼玉県鋳造技術コンクールへのオープン参加、参加社数：2社	技術向上及び交流を目的とした生産技術競技会は、公的な支援無くして開催されることが困難であるため。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
鋳造技術の向上と鋳物産業の活性化を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	補助対象団体数	団体	1	1	1	1	
	三重県鋳物工業協同組合 会員数	社	33	32	32	32	
活動指標	補助件数	件	1	1	1	1	
成果指標	鋳物生産技術競技会参加企業数	社	目標値 14 実績値 11	11	11	10	
	鋳物生産技術競技会参加市内企業数	社	目標値 7 実績値 8	8	5	8	
投入コスト	事業費計		324	260	260	234	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		324	260	260	234
	所要人員 (正職員)	人工	0.18	0.16	0.20		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円	1,255	1,133	1,367			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

審査員、審査方法、採点基準の見直し等を行い、鋳物事業者が参加し、より技術の向上に繋がりがやすい内容となるよう検討する。